

不審電話に関する事例

10月20日（月）12時30分頃、宮崎市在住の広域高齢者医療被保険者（76歳女性）宅に市役所職員を名乗る男性から電話があった。

男性は、「5月15日に平成23～25年度分の医療費還付金が37,000円程度あることを文書で送っているが、申請書の返送が確認できない。」と言った。

また、利用金融機関を尋ねられ、宮崎銀行であることを伝えると「宮崎銀行からも電話があると思う。支払いに関する詳細は役所側では不明。」と曖昧なことを言われた。

不審に思って夫に相談したところ、夫の助言もあって市役所に確認の電話をしたことにより判明した。

翌21日（火）の正午頃にも同被保険者宅に不審な電話があり、被保険者女性の夫より市役所に電話があった。

宮崎銀行本店の銀行員フジウラと名乗る者から妻（被保険者女性）を出すように言われた。妻は隣にいたが代わらず、不審に思って昨日の電話について警察に相談していると伝えると電話を切られた。南警察署にも改めて相談するが、昨日

市役所に連絡をしているので市役所にも連絡しようと思い電話をしたことにより判明した。

不審な電話等があった場合、広域連合、市町村後期高齢者医療担当または最寄りの警察へ御相談ください。

問い合わせ先：宮崎県後期高齢者医療広域連合

0985-62-0921（業務課）